



和らげる紙

長野県上田染谷丘高校1年 1組 氏名白井 悠



この課題に関わるSDGsの番号



テーマ設定の理由

現在はプラスチックの排出が問題になっています。そのためスーパーやコンビニで当たり前のように使われていたビニール袋も有料になってしまいました。そんなプラスチックについて考えてみたいと思ったのが理由です。

現状

現在海などに排出されたプラスチックの量はとんでもないものになっています。そのため2050年にはプラスチックの量が海洋生物の量を超えと言われています。またマイクロプラスチックという目に見えないほど小さなプラスチックがあり、それを海洋生物が食べてしまうことが問題になっています。更に近頃では人間の血液中からマイクロプラスチックが検出され大きな問題になっています。

課題

プラスチックが大量に排出される原因にはプラスチック製品が大量に生産されていることにあります。ただその背景にはプラスチックの便利さにあります。プラスチックはとても加工しやすいためとても生産性が高いです。更にとっても頑丈で軽いためこれまでも今も非常に重宝されています。そのためなかなかプラスチックを手放すことのできない状況に陥ってしまっているのです。

解決策



私はその解決策として「和紙」に注目してみました。和紙は私達が普段使っている紙とは違いとても強度が強く、昔は和傘として傘に使われていたこともあり耐水性があります。そのためプラスチックの容器の代わりに和紙で作った容器を代わりに使うのが良いのではないかと考えました。実際に和紙で作られたお皿などがあります。

10代からの提言

現在は新しいもので溢れています。しかし新しいものにも改善点はたくさんあります。そこで一旦昔ながらの知恵や伝統というものを見習うのも大切なのではないかと思いました。昔ながらの伝統というものは先代の人々の知恵がたくさん詰まっています。そこからヒントを得るのも1つの手なのではないかと考えました。

感想

世の中には数え切れないほどの問題があるのだとわかりました。SDGsで掲げられている目標は地球規模の問題なので私達には何もできないような気がしていました。しかし問題解決のためには逆に私達一人ひとりの努力が必要だと思います。始めは一人の努力でもみんなと同じ目標に向かって行くことでそれは大きな力となり問題解決につながると思いました。